



## NPO PTPL “ともいき” 便り No.146

平成 30 年（2018 年）5 月 5 日発行

### ■立夏（りっか） 平成 30 年 5 月 5 日から 5 月 20 日までの節気

5 月に入りました。早くも暦の上では「夏」の季節です。「風薫る五月」「五月晴れ」などなど、この時季が一年で一番快適に過ごしやすく、また、さまざまな緑を織りなす木々の葉が、心地よい風に吹かれながら、強くなった日差しに照らされて輝いています。

この便りが届くころは、ゴールデンウィークも終盤。旅行や帰省、近くでのんびりと過ごすなど、それぞれ楽しい思い出やリフレッシュした連休を過ごされたと思います。

さて、この節気期間中、京都と大阪で伝統ある大きな祭りが開催されます。

#### ●京都・葵祭

5 月 15 日（火）、（※雨天の場合は翌日順延）に開催される葵祭は京都三大祭（7 月 1 日祇園祭、10 月 22 日時代まつり）のひとつで、6 世紀後半、飢餓、疫病の流行と風水害を鎮めるための祭礼が起源と言われており、わが国の祭のうち最も優雅で古趣に富んだ祭として知られています。

古典行列は平安貴族そのままの姿で列をつくり、京都御所を出発、総勢 500 名以上の風雅な行列が下鴨神社を経て、王朝絵巻さながらの行列が古式ゆかしく 8 キロメートルの道のりを練り歩き上賀茂神社へ向かいます。

#### ●東京浅草・三社祭

5 月 18 日（金）から 5 月 20 日（日）の 3 日間、浅草神社で開催される三社祭は東京三大祭（神田まつり、山王祭）のひとつで、東京に夏の訪れを告げる祭りでもあります。

約 100 基の神輿が東京の下町を勇壮に練り歩くことで知られ、毎年約 150 万人の人出が見込まれています。

#### ●藤の花

数年前、ゴールデンウィーク期間中、春日大社を訪れた際、すぐそばにある萬

葉植物園を訪ねました。

まず、春日大社は「下り藤」の社紋に見られるように、藤の花をととても大切にしてきました。

植物園内の南庭には、現在、20 品種、約 200 本もの藤の木が植栽される「藤の園」があります。

この植物園の藤の木の特徴は、当然藤棚もありますが、立ち木づくりの形式をとり、藤棚のように見上げるのではなく、目線で花が観賞でき、また、花が外向きに咲くことで陽の光を浴びて美しく見えるよう植栽されています。(萬葉植物園 HP より)

定番の藤色のほかに、白、濃い紫、赤紫などいろいろな色の藤が楽しめます。もちろん、春日大社の南門を背景にした藤棚も見事ですが・・・。

佐藤 誠 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局)

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。それは日本的なるもの「ジャパネスク」

●日本の人口 1 億 2670 万 6 千人。

総務省は、昨年 10 月現在の人口推計を発表しました。総人口は前年より 22 万 7 千人減の 1 億 2670 万 6 千人で、7 年連続の減少。65 歳以上の高齢者は 56 万 1 千人増の 3515 万 2 千人となり、総人口に占める割合は過去最高の 27,7%でした。都道府県別では東京への一極集中に歯止めがかかっていません。

この事実を消極的にとらえるのではなく、もっと前向きに考えていく必要があるのではないのでしょうか？

15 歳から 64 歳の生産年齢人口の減少も、65 歳以上の健康な人に、どのように社会に役立ってもらえることができるのかを積極的に考えるべきです。

知識も経験も豊富な人々にどう働いてもらうべきなのか、ボランティア活動でもよいし、社会に役立ってもらえる方法を前向きに、もっと積極的に検討すべきだと思います。

皆さまはどう考えますか?!!

※「ジャパネスク語り」No102、No103 をご覧ください。

<http://www.japanesque.tokyo/katari.html>

※「少子高齢化」と、捉えるのではなく「少子長寿化」という発想はいかがでしょうか？

※入国者数から出国者数を差し引いた「社会増」は前年より1万7千人増えて、過去最多の15万1千人になりました。外国人は増え続けており、外国人労働者が日本人の働き手不足を補っている様子がうかがえると報道していますが、高齢者にこの外国人労働者に日本語、日本の心を教えるシステム化された積極的な方策を考えるべきだと思います。

### ●マイクロプラスチック。

細かく砕かれたプラスチックのごみが世界の海を汚染している。というニュースが最近、目につきます。

マクロプラスチックと呼ばれる微細なごみは、リサイクルされずに捨てられたペットボトルやレジ袋などが海に流され、波や紫外線で直径5ミリ以下の大きさに砕かれたものをいうそうです。

山積している地球温暖化問題については、日本は世界のリーダーになるべきです。地球温暖化、海洋汚染、自然災害、宇宙のごみ、原発のごみ処理などなど。日本の誇るべき伝統であり、わが国の文化と精神の真髄である「ジャパネスク」、「ともいき」「ともうみ」「ともさち」そして「和」を精神的基盤とする日本人だからこそ、この分野の世界のリーダーになれる、なる可能性があります。

私も海洋汚染については知識がありませんので、学習をこれから実行していこうと考えます。

※「ジャパネスク語り」No94、No97、No105をお読みください。

<http://www.japanesque.tokyo/katari.html>

※「タピラス」の「おはなし」からいろいろなタピラス物語をお読みください。

<http://www.tapirus.tv/story/>

## 日本 2018 ジャパネスク

あなたと日本の話をしてみたい。

**discover japanesque**

勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局便り

●この節季の始まりは、ゴールデン・ウィークの終盤です。皆さん、いろいろな過ごし方をされていると思います。東海道新幹線の車窓からは茶畑の緑が鮮やかです。五月は本当に自然が創り出すさまざまな緑色が楽しめる時季ですね。

●是非、NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」 : <http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」 : <http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」 : <http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2016/>

「タピラス」 : <http://www.tapirus.tv/>

「ともいき ぐらし」 : <https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと富士山探し」

<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

●会員募集のご案内

NPO 活動（ジャパネスク運動）を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。お力添えのほど、どうぞよろしく申し上げます。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

電話 : 03-6432-5911 FAX : 03-6432-5912

Email : [info@ptpl.or.jp](mailto:info@ptpl.or.jp)